

「血栓凝固阻止薬」の観察研究 ～リバーロキサバンの有効性及び安全性評価の検討～

当院では、血栓予防の治療薬リバーロキサバンというお薬の有効性(効き目)と安全性(副作用)を調べることを目的とした研究を実施しております。
当院を受診されている「非弁膜症性心房細動」の患者さんにデータの提供をお願いしております。

【観察研究とは】

病気の予防・診断・治療方法の改善・患者さんの生活の質の向上などを調べるため、患者さんにご協力頂き検査データの提供をお願いする研究のことです。

【お薬の特徴】

血管内で血液が固まるのを防ぐ作用があり、塞栓(血管をふさいでしまうこと)を予防するお薬として有用な治療薬です。

【この研究の概要】

- ①全国約40施設から、1,100例のデータを集めます。
カテーテルアブレーション治療を予定され、治療実施前に3週間以上のリバーロキサバンを服薬している非弁膜症性心房細動の患者さんからデータを提供いただきます。
- ②この研究は、日常診療と変わらない治療が行われ、研究のために特別な検査等を行うことはありません。
- ③研究期間は2014年6月～2015年4月です。
- ④ご協力頂く期間はカテーテルアブレーション治療実施日以降1カ月です。

【ご参加頂くにあたって】

- ①参加は自由で、いつでも参加を取りやめることができます。
- ②参加頂ける方の個人情報には完全に守られます。
- ③参加を途中で取りやめても不利益な対応を受けることは一切ございません。

ご協力頂ける方、ご興味のある方はお気軽に主治医または
下記窓口へお問い合わせください。

【この研究に関する問い合わせ窓口】

一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院 循環器内科病院 担当： 安藤 献児
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3-2-1
TEL:093-511-2000(代表)